

外国人ゆかた着付けと盆踊りのつどい

2018年6月10日淀川区NPO連絡会と淀川区役所が初めての共催

6月10日淀川区民センターで開催された「外国人ゆかた着付けと盆踊りのつどい」は、外国の人たちに日本文化に接してもらい、日本人との交流を深める事を目的に開催されました。

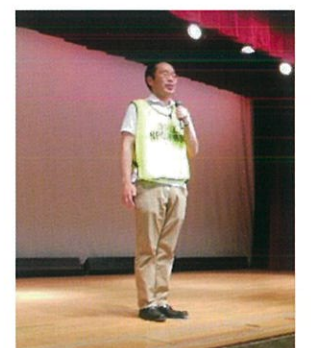
NPOと区役所が、初めて本格的な催しを共同開催するので、その意味でも注目されましたが、つどいには約50人の外国人（中国、ベトナム、韓国、インドネシア、マレーシア、ブラジル）と日本人50人、合計100人が参加し、楽しく盛況なつどいになり大成功しました。



(写真上) 外国の人たち盆踊りの練習熱心、覚えるのがびっくりするほど早かった



主催者あいさつをする山本区長、英語のスピーチでびっくり



閉会あいさつは、NPO連絡会の坂井さん



半年以上かけて、この日を準備してきたNPOと区役所の皆さん



(写真左) 前列は踊りを教えたり、着付けをした日本人の人たち、上段2列は外国の人たちがほとんどです。中国から来ている研修生の人たちは、日本文化に接する事が研修の目的でもありこの催しに感謝していました。淀川区の介護施設で働いている外国の人たちも、ゆかたを着て盆踊りができたと大変喜んでました。



舞台上がってゆかたのたたみ方を指導外国の方が真剣にゆかたをたたむので、閉会後の整理が大助かり。山本区長に手伝ってもらいました。



国会議員の長尾さん(NPO連絡会会員)が参加。横山府議会議員、寺戸市議会議員(NPO連絡会会員)も参加されました。



閉会あいさつを聞く参加者



懸命にゆかたの着付け



準備を終えて、開会を待つひと時(ゼッケンはNPOの仲間)